

# 外国語教育セミナー

～つながりと社会活動を通じたことばの学び



- 日 時**：2013年8月4日（日）10:30-16:45
- 会 場**：関西大学千里山キャンパス 第1学舎5号館 E601
- 主 催**：公益財団法人国際文化フォーラム
- 共 催**：関西大学大学院外国語教育学研究科
- 後 援**：文部科学省



公益財団法人国際文化フォーラム

〒112-0013 東京都文京区音羽 1-17-14 音羽 YK ビル 3F

## ★講師：當作靖彦



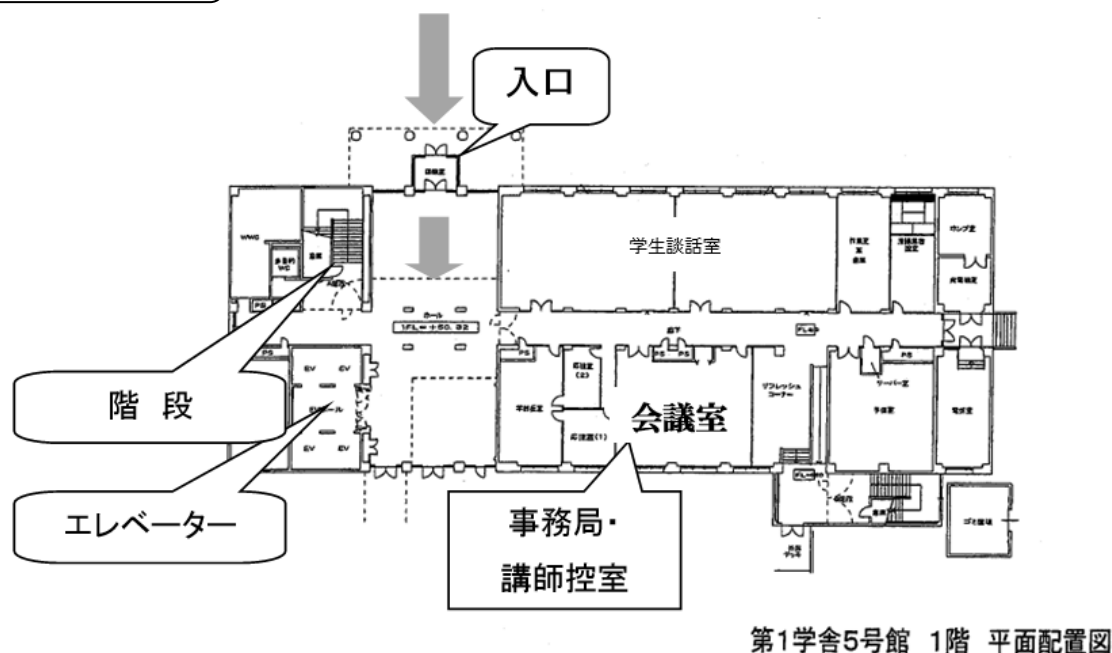
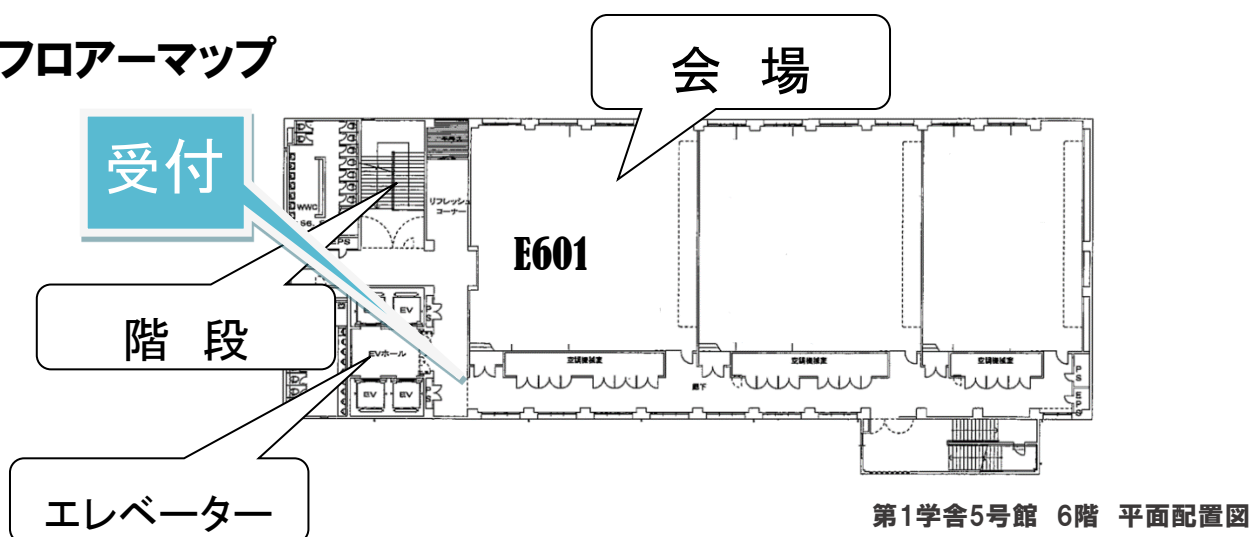
カリフォルニア大学サンディエゴ校教授(言語学、Ph.D)、外国語プログラムディレクター。専門は第二言語習得理論と外国語教授法。アメリカの日本語ナショナル・スタンダードの作成に参加。現アメリカ日本語教育学会会長。

日本における新しい外国語教育の理論と方法の開発をめざした、日本の高大の外国語教師が参加するプロジェクトに監修者として参加。その中で考えたソーシャルネットワーキングアプローチ(SNA)をまとめた最新著書『NIPPON3.0の処方箋』を7月に講談社から出版。當作教授は、外国語教育における新たなアプローチSNAについて日本国内外で多数ご講演されるなど、世界的に活躍されています。

## ★日程：

- 10:00～ / 受付開始
- 10:30～12:00 / 講義: グローバル時代の人間育成と言語教育
- 13:30～15:00 / 講義: つながりと社会活動を通じたことばの学び
- 15:15～16:45 / ワークショップ

## ★フロアーマップ



# 外国語教育セミナー ～つながりと社会活動を通じたことばの学び



## 1時限／講義： グローバル時代の人間育成と言語教育

21世紀は急速なテクノロジーの発達が生社会、経済の変化を主導するグローバル化の時代です。20世紀とは大きく異なるこのグローバル化の時代を生き抜くためには、これまでとは違う知識、能力、資質が必要とされています。しかし、日本の教育は新しい知識、能力、資質を持った人間を生み出しているのでしょうか。21世紀のグローバル化に対応できる人材に必要な2大能力とはコミュニケーションと協働作業によって「つながり」を作る能力と21世紀が直面する環境、人口移動、気候変化、エネルギー、食糧等の複雑な問題を解決する「高度の思考力」とされています。言語のクラスはこのような能力を発達させる絶好の場ですが、日本ではそのための言語教育が行われているのでしょうか。

この講義では、「つながる」力と「高度の思考力」を含む「社会力」を養う言語教育の新しい方向性を示すとともに、グローバル時代に必要なイノベーターとなれる人材を育成する言語教育の環境作りの必要性を考えます。

## 2時限／講義： つながりと社会活動を通じたことばの学び

教育はその時代を反映したものであり、その時代を生産的、効果的に生き、社会に貢献できる人間を育てるものでなければなりません。言語教育の目標は、単に文法・語彙を学習するにとどまらず、それを駆使して情報交換、情報獲得を行うことであり、さらには、言語を使って社会活動を行い、地域社会、グローバル社会に参画し、社会を発展させ、よりよいものに変えていく能力を賦与することです。

このように社会を作る「つながる」力、社会活動を行う「社会力」獲得を目標とする言語教育のアプローチを「ソーシャルネットワーキングアプローチ」と呼びます。このアプローチでは、言語能力は「つながる」活動、社会活動を通じてもっとも効果的に獲得されると考えます。

このアプローチの理念をもとに開発、提唱されたのが国際文化フォーラムの「外国語学習のめやす」です。この講義では、「外国語学習のめやす」の理念、教育目標、学習目標を考え、21世紀の時代を反映した新しい言語教育の方向性、可能性を考えます。

## 3時限／ワークショップ

<https://www.facebook.com/TheJapanForum>

★本日のセミナーの様子は、TJFのfacebookで紹介します。アクセスして、是非「いいね！」してください！

## ★注意

- ・建物内は、禁煙です。
- ・教室内での飲食は可能ですが、ゴミは各自お持ち帰りください。
- ・研修中、携帯電話の電源はお切りください。
- ・講義の録音、撮影はお断りします。

